群数	G09 - 02
教セ	平17.228集

## 自分の思いや考えを表現しようとする 態度を育てる指導の工夫

—— InputとOutputの繰り返し活動を通して ——

特別研修員 金子 敬 (嬬恋村立西中学校)

- (研究の概要) ——

本研究は、InputとOutputの繰り返し活動を通して、自分の思いや考えを表現しようと する態度を育てることを目指したものである。具体的には、文章を読んでその内容につい て整理し、自分の思いや考えを加えて表現する活動を行った。その過程で、生徒同士で指 摘し合う繰り返しの活動に取り組むことで、お互いの文章のよさを認めたり、参考にした りすることができるように工夫した。

キーワード 【英語 - 中 Input Output 繰り返し活動 自分の思い 提案】

## 主題設定の理由

国際化社会、情報化社会と言われて久しい。多 くの日本人が海外へ出かけたり、外国人が日本を 訪れるといった相互交流の機会が増えてきてい る。また、インターネットなどの普及にともない、 コンピュータを利用して世界中の多くの情報を入 手でき、Eメールでのやりとりを行う機会も増え てきている。そのような状況の中、国際語である 英語を用いて、積極的にコミュニケーションを図 る必要性があると考える。そのためには、英語に 慣れ親しんで、自分の思いや考えを伝えることの できる力、すなわち自己表現力を育成することが 大切であると考える。そして、自己表現できるよ うになるためには、同じ表現を何度も繰り返して 練習していこうとする学習意欲が求められると考 える。

本校の生徒の実態をみると、大半の生徒は英語 が好きで、ALTに自分が話した英語が通じた喜び を味わい、もっと話せるようになりたいという話 す活動への意欲は大変高いようである。これは今 までの授業の中でオーラル活動に多くの時間を費 やし、簡単な挨拶や会話が成立する程度の表現を 反復練習してきたことの成果であると考える。一 方、書く活動に関しては、教科書の本文の語を入 れ替えて英文を書くといった活動はしてきたもの の、書く指導の工夫が欠けていたため、自分の思 いや考えを自由に表現することができる状態に至 っている生徒は少ない。また、書く力は生徒間で 格差があり、苦手意識が強い生徒もいるため、支 援のあり方についても工夫する必要があると考え る。

書く活動は、自分の思いや考えをどのように英 語で表現すればよいかに時間をかけることができ るため、試行錯誤をしながらも、適切な表現を自 分自身で見いだすことができると考える。また、 いったん定着した表現を言葉で表す練習をするこ とにより、話すためのコミュニケーション能力の 育成にもつながると考える。しかし、自分自身で 適切な表現を見いだすためには、ある程度の英語 表現を知識として知っていなければならない。役 に立つ様々な表現を覚える、すなわち Input する ことで、初めて自分の伝えたいことを表すための 語彙や構文や言い回しなどを自分なりに考えて表 現する、すなわち Output することができるよう になるであろうと考える。

そのため、本研究では教科書のまとまった英文 を読んで、語彙や構文や言い回しなどを Input し、 それらを活用して英語で表現するという Output の活動を行いたいと考える。具体的には、教科書 の本文を読み、筆者の考えであると思える語や文 を抜き出して、内容に関する情報を得て(Input)、 それらの英語をワークシートに整理する (Output)。また、ワークシートに整理した英語 を友達に見てもらって、指摘を受けることで様々 な新しい表現などを学び取り(Input)、自分の新 しい表現方法に生かしていく(Output)。そして、 教師の提示したテーマに関する英文を読んで、さ らに多くの知識や情報を取り入れ(Input)、取り 入れた知識や情報を参考にして英語で自己表現す る(Output)活動へとつなげていく。他の生徒と の教え合いも行い、お互いのよりよい表現方法に 気付き(Input)、新たに自分の思いや考えを膨ら ませていく(Output)。最終的には説得力のある 英文を作成することを目標にし、Input と Output の繰り返し活動を行いながら、生徒の書くことに 対する意欲を高めていきたいと考える。

以上のことから、書く活動の Input と Output の繰り返しが、よりよい英語表現をしたいという 意欲の向上につながり、自分の思いや考えを表現 しようとする態度が育つと考え、本主題を設定し た。

研究のねらい

英語を書く活動において、Input と Output の 繰り返し活動を行えば、自分の思いや考えを表現 しようとする態度が育つことを実践を通して明ら かにする。

研究の見通し

- 1 導入の過程において、教科書の英文を読んで、 筆者の考えをまとめる視点で整理し、よりよい 英文作りをする上での Input と Output の繰り 返し活動を行えば、まとまった英文作りに興味 をもって取り組むであろう。
- 2 応用の過程において、選んだテーマについて 提案するという視点で整理し、説得力のある英 文作りをする上での Input と Output の繰り返 し活動を行えば、書くことに自信がもて、自分 の思いや考えを表現しようとするであろう。

研究の内容と方法

- 研究の内容
- (1) 自分の思いや考えを表現しようとする態度に ついて

「自分の思いや考えを表現しようとする態度」 とは、自分の思いや考えを相手に理解してもらう ために最も適切な語彙や構文や言い回しなどを選 択し、文章構成にも工夫しながら何とか伝えよう とする態度であるととらえた。また、よりよい英 文作りをするために辞書や提案表現集を使用した り、友達からの有効な指摘を受け入れようとした りする態度であるともとらえた。

導入、応用それぞれの過程における具体的な生 徒像として次の2点を挙げる。

英文を読んで、筆者の考えを理解し、その考 えをまとめようとして、読むこと、書くことの 繰り返し活動でまとまった英文作りに興味をも って取り組む生徒。

教師が提示したテーマについて、自分の思い や考えを提案しようとして、読むこと、書くこ との繰り返し活動で相手にわかりやすく伝える ための英文作りに意欲的に取り組む生徒。

(2) Input とOutputの繰り返し活動について

Input とは、教科書の本文や教師が提示した資料を読み、筆者の考えを表す文章構成の仕方や語 彙や構文や言い回しなどに関する情報を得るこ と、また、友達から指摘された内容や役に立つ英 語表現を学ぶこととする。また、Output とは、 得た情報や学んだ英語表現などを参考にして自己 表現することとする。こうした Input と Output を繰り返し行うことにより、自分自身で作成した 英文も段階的によりよいものへと仕上がり、その 過程の中で基礎・基本が定着し、コミュニケーシ ョン能力につながる表現力も向上するものと考え る。

具体的には、導入の過程では、教科書の本文を 読んで、筆者の考えが表れている語彙や構文や言 い回しなどを抜き出し、ワークシートに整理する。 その際、自己表現する上で参考になるものを取り 上げることに重点を置くため、語順や文章表現上 の正確さにはとらわれ過ぎないようにする。こう して、出来上がった文章について、友達から内容 や表現上の指摘を受け、参考となる点を生かして 修正する。

応用の過程では、教師の提示したテーマから一 つを選択し、その英文を読みながら、提案文を作 る上で参考になる語彙や構文や言い回しなどを抜 き出し、ワークシートに整理する。整理をする際 には、導入の過程で作成した文章表現上の大切な 点も踏まえるようにする。こうして出来上がった 文章について、友達から再度、内容や表現上の指 摘を受ける。なお、自分の思いや考えを相手に理 解してもらう上で、説得力のある文章構成にする ため、そのヒントとなる提案表現集を参考にさせ る。この Input と Output の活動を繰り返し行う ことで、書くことに自信がもて、自己表現活動に 意欲的に取り組むことができるようになると考え る。

2 研究の方法

研究の見通しに基づき、次のような方法で授業実践を行い、検証する。

(1) 授業実践計画

時期	平成17年10月中旬~11月上旬	教科	外国語(英語)
対象	嬬恋村立西中学校 3 年 A 組 男子14名	女子22名	名 計36名
題材名	自然を守るための提言	時間	7 時間
(2) 抽出:	生徒		
	英語に対する関心・意欲は高く、理解力も	優れてい	る。しかし自分の思いや考えを表現
A 男	することに苦手意識がある。友達同士の学び	合いを通	して、自己表現の機会を経験し、英
	文を作ることに自信をもたせたい。		
	英語の授業を楽しんでいる様子は見える。	しかしな	がら理解力不足のため英作文を行っ
B女	ても、正しい単語の綴り、語順で書くことが	苦手であ	る。自分が思っていることを間違え
	を恐れず英語で表現することにより、書くこ	とに自信	をもち、より英語が好きになるよう
	にしたい。		
(3) 検証	計画		

	検証の内容	検証の方法
見	導入の過程においては、教科書の英文を読んで、筆者の考えをまと	観察
通	める視点で、語彙や本文をワークシート 、 、 に整理し、よりよ	ワークシート 、 、
し	い英文作りをする上でのInputとOutputの繰り返し活動を行うことは、	
1	英文作りに興味をもって取り組むために有効であったか。	評価シート 、 、
見	応用の過程においては、教師の提示した英文に対し、提案するとい	観察
通	う視点で、ワークシート に整理し、説得力のある英文作りをする上	ワークシート
し	でInputとOutputの繰り返し活動を行うことは、生徒が書くことに自	評価シート 、
2	信がもて、自分の思いや考えを表現しようとする態度を育てるために	
	有効であったか。	

研究の展開

## 1 題材の考察と目標

本題材では、漁師と森林という意外な関係を取り上げた読み物資料を通して、教科書の内容
 を読んで理解し、個々で理解したことを生かし、書く活動に取り組む。個々で書いた英文をほ
 かの生徒と交換し合い、よりよい英文を作り出していく。自分の伝えたいことを何度も繰り返
 は練習することで書くことへの意欲が高まり、自分の思いや考えを表現しようとする態度を育
 てることができると考える。
 導入の過程では、教科書の本文を読み、筆者の考えであると判断する語や文を書き出し、応
 第 の過程では、自分が選んだテーマについての英文を読み、一人一人が自然を守るための提言
 を書く。導入、応用の各過程においては生徒同士の学び合いを通して、よりよい英文を作成し、
 自分自身の思いや考えを書くようにする。言語材料としては、関係代名詞である「~する人」
 と表現するwho,「~するもの」と表現するwhichについて学ぶことができる。
 ・自然保護をテーマに、InputとOutputの繰り返し活動を行い、「自然を守るための提言」を
 英語で書こうとする。

・関係代名詞を理解し、正しく用いることができる。

2 評価規準

関心・意欲・態度         知識・理解           (言語活動への取組)         (言語活動への取組)           (言語活動への取組)         (正確な聞き取り)           (方言語活動への取組)         (「言語活動への取組)           (こコミュニケーションの継続)         (二確な発話)           と         理解できないところがあっ ても、推測して聞き続ける。           (言語活動への取組)         (正確な発話)           (言語活動への取組)         (正確な発話)           (こコミュニケーションの継続)         (正確な発話)           さたができる。         (ご面切な発話)           (こまコニケーションの継続)         (正しい文の英文を読む ことができる。           (コミュニケーションの継続)         (通切な発話)           と         (国な発話)           (コミュニケーションの継続)         (適切な発話)           自然を現じていてスビ ようとしている。         -チができる。           (コミュニケーションの継続)         (適切な発話)           自分が書いた英文を読         書かれている英文の内 容を読み取ることがで できる。           マきる。         (文化についての知識)           日かが書いた英文を読         書かれている英文の内 容を読み取ることがで できる。           マきる。         (う切な発話)           ことができる。         (文化についての知識)           教科書の英文を読みの取ることがで できる。         (文化についての知識)           なたができる。         (適切な筆記)           本文からキーワードとなる         自然を守るための提言           言語を扱き出し、まとめよう         を書くことができる。           くしている。         (文化についての知識)           「言語についての知識)         日然を守るための提言		十 [四 元 十	·		
(言語活動への取組)       (正確な聞き取り)       (言語についての知識)         (「言語活動への取組)       (正確な聞き取り)       (言語についての知識)         (」コミュニケーションの継続)       (二確な発話)       ことができる。       (文化についての理解)         (」言語活動への取組)       (正確な発話)       (正しい文の英文を読む)       (ご言語についての知識)         (」言語活動への取組)       (正確な発話)       (正しい文の英文を読む)       (ご確な発話)         (」コミュニケーションの継続)       (通切な発話)       (通切な発話)       (通切な発話)         と       (コミュニケーションの継続)       自然保護についてスビ       (通切な読み取り)         (「言語についての理解)       自然保護についてスビ       -チができる。       ((通切な読み取り))         (」コミュニケーションの継続)       (」通切な発話)       (」通切な発話)       (」         と       日かが書いた英文を読       (」       (」のなみを認め取り)       (」         「言語についての知識)       日かが書いた英文を読       日かが書いた英文を読       (」       (」         (」コミュニケーションの継続)       (」       (」       (」       (」       (」         (」       ことができる。       (」       (」       (」       (」       (」         (」       ことができる。       (」       (」       (」       (」       (」         (」       ことができる。       (」       (」       (」       (」       (」       (」       (」       (」       (」       (」       (」       (」       (」       (		ア コミュニケーションへの	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての
聞     友達のアドバイスを真剣に (国こうとしている。 こ(コミュニケーションの継続) と 理解できないところがあっ ても、推測して聞き続ける。     関係代名詞who,whichを 使った英文を聞き取る ことができる。     関係代名詞who,whichを 使った英文を聞き取る ことができる。       (「言語活動への取組)     (正確な発話) 子まで学んだ表現を多く使 おうとしている。     正しい文の英文を読む ことができる。     (言語についての知識)       (第 す おうとしている。 こ(コミュニケーションの継続)     (正しい文の英文を読む ことができる。     (言語についての知識)       (第 す おうとしている。 こ(コミュニケーションの継続)     (通切な発話)     (通切な発話)       (注意についての理解)     自然保護についてスビ ーチができる。     (通切な読み取り)       (国本を行きための提言を述 ようとしている。     (通切な発話)     (通切な読み取り)       (国本できないところも推測 して、読み続ける。     (通切な発話)     (通切な読み取り)       (注語活動への取組)     (適切な筆記)     (通切な筆記)       と     自分が書いた英文を読 書かれている英文の内 容を読み取ることがで きる。     (文化についての知識)       (「言語活動への取組)     (適切な筆記)     (通切な筆記)       本文からキーワードとなる 書     自然を守るための提言 を書くことができる。     (言語についての知識)       「言語活動への取組)     (通切な筆記)     (通知な筆記)       本文からキーワードとなる こ     自然を守るための提言 を書くことができる。     (言語についての知識)       日本 なからキーワードとなる こ     自然を守るための提言 を書くことができる。     (文化についての理解)       日 御かなうるたかできる。     (文化についての知識)     日本 なからキーワードとなる こ     (次化こおいたの無)       日 御かまうるたれず、自分の     自然を守るための提言 のできる。     (文化についての理解)       日 御かまうるたれず、自分の     自然を守るための提言     (文化についての理解)       日 のまころのできる。     (文化についての理解)     日本 なっろことのできる。		関心・意欲・態度			知識・理解
く       聞こうとしている。 (コミュニケーションの継続)       使った英文を聞き取る。 ことができる。       い方の知識をもっている。 (文化についての理解) 森林保護と漁業の関係について いて理解している。         と       理解できないところがあっ ても、推測して聞き続ける。       (正確な発話)       ことができる。       (う言語についての知識)         話       今まで学んだ表現を多く使 あうとしている。       正しい文の英文を読む ことができる。       (う言語についての知識)         す       あうとしている。       ことができる。       (う切な発話)         と       相手に伝わるように発表し ようとしている。       自然保護についてスピ ーチができる。       (適切な読み取り)         支払している。       (適切な発話)       (適切な読み取り)       (言語についての知識)         理解できないところも推測 して、読み続ける。       (適切な発話)       (適切な読み取り)       (言語についての知識)         変と       自分が書いた英文を読 むことができる。       おれている英文の内 容を読み取ることがで きる。       (う話についての知識)          (適切な筆記)       自然を守るための提言 を書くことができる。       (う話についての知識)          「言語についての知識)       数料書の英文を読んで自然 保護と漁業の関係について 理解している。       (う話についての知識)          「言語活動への取組)       (適切な筆記)       自然を守るための提言 を書くことができる。       (う話についての知識)          「言語についての知識)       関係代名詞who, whichを用 の美なを考えことができる。       (こしいため見 の          (適切な筆記)       自然を守るための提言 を書くことができる。       (う言語についての知識)          「言語についての知識)       関係代名詞who, whichを用 のできる。       「言語についての知識)          「言語についての知識)       「言語についての知識)       「言語についての知識) <td< td=""><td></td><td>(言語活動への取組)</td><td></td><td>(正確な聞き取り)</td><td>(言語についての知識)</td></td<>		(言語活動への取組)		(正確な聞き取り)	(言語についての知識)
<ul> <li>ことができる。</li> <li>ことができる。</li> <li>ことができる。</li> <li>ことができる。</li> <li>(支化についての理解) 森林保護と漁業の関係について見 っても、推測して聞き続ける。</li> <li>(正確な発話) ことができる。</li> <li>(言語活動への取組)</li> <li>(正確な発話)</li> <li>ことができる。</li> <li>(1コミュニケーションの継続)</li> <li>(通切な発話)</li> <li>(通切な発話)</li> <li>(1コミュニケーションの継続)</li> <li>(1コロな発話)</li> <li>(1コロな知識)</li> <li>(1コロの知識)</li> <li>(1コロの知識)</li> <li>(1コロの和前のの取組)</li> <li>(1コロの和前のの取組)</li> <li>(1コロの知識)</li> <li>(1コロの知識)</li> <li>(1コロの知識)</li> <li>(1コロの和前のの取組)</li> <li>(1コロの和前のの前ののの知識)</li> <li>(1コロの和前のの和前のの取組)</li> <li>(1コロの和前のの前のの前のの前のの前のの前のの前のの前のの前のの前の前の前の前の前の</li></ul>	聞	友達のアドバイスを真剣に		関係代名詞who,whichを	関係代名詞who,whichの使
と       理解できないところがあっ ても、推測して聞き続ける。       森林保護と漁業の関係につ いて理解している。         (言語活動への取組)       (正確な発話)       (言語についての知識)         話       今まで学んだ表現を多く使 あうとしている。       ごとができる。       (言語についての知識)         こ       (コミュニケーションの継続)       (適切な発話)       自然保護についてスピ コチュニケーションの継続)       自然保護についてスピ ロチができる。         (コミュニケーションの継続)       (適切な発話)       自分が書いた英文を読 むことができる。       (適切な読話)       関係代名詞who,whichを含 スることができる。         (コミュニケーションの継続)       (適切な発話)       自分が書いた英文を読 むことができる。       アメのたてきる。       (ご知な読み取り)         (こまごたてきるも推測 して、読み続ける。       自分が書いた英文を読 むことができる。       アメのたてきる。       (ご知な読み取り)         支達       (適切な筆記)       女を読み取ることがで きる。       んだ英文を認識することが できる。         ことができる。       さことができる。       (文化についての知識) のた英文を読み取ることが できる。         ことができる。       (適切な筆記) (立とができる。 (文化についての知識) 教科書の英文を読んで自然 保護と漁業の関係について 理解している。         ことができる。       (適切な筆記) (意切な筆記) (意話でついての知識) (言語についての知識)         本文からキーワードとなる を書くことができる。 (文化についての知識) (なぞきる。 (文化についての知識)         としている。 (コミュニケーションの継続) 自然を守ることの重要 (文化についての理解) 自然を守ることの重要 (文化ここのでできる。         こく (コミュニケーションの継続) (次化についての理解) 自然を守ることの重要 (文化についての理解) 自然を守ることの	<	聞こうとしている。		使った英文を聞き取る	い方の知識をもっている。
ても、推測して聞き続ける。       いて理解している。         (盲語活動への取組)       (正確な発話)         第       今まで学んだ表現を多く使         す       あうとしている。         こ       (コミュニケーションの継続)         と       相手に伝わるように発表し         ようとしている。       -チができる。         (通切な発話)       自然保護についてスピ         ようとしている。       -チができる。         (コミュニケーションの継続)       (通切な発話)         理解できないところも推測       自分が書いた英文を読         して、読み続ける。       むことができる。         ジ       (通切な発話)         理解できないところも推測       自分が書いた英文を読         さとができる。       (通切な読み取り)         度常を読み取ることができる。       (言語についての知識)         マきる。       (ご適切な発話)         理解できないところも推測       自分が書いた英文を読         して、読み続ける。       むことができる。         ジ       ごとができる。         (う語についての知識)       関係代名詞who,whichを含         水文からキーワードとなる       音然を守るための提言         書       語を抜き出し、まとめよう         くしている。       (ゴロな筆記)         自然を守るための提言       (文化についての知識)         関係代名詞who,whichを用       いて正しい英文を書くことができる。         (コロンボンジ       自然を守るための見合         書       話を抜き出し、まとめよう         を書くことができる。       (文化についての理解)         自然を守るたれずくきる。	C	(コミュニケーションの継続)		ことができる。	(文化についての理解)
(言語活動への取組)       (正確な発話)       (正確な発話)         第       今まで学んだ表現を多く使       正しい文の英文を読む         す       おうとしている。       ことができる。         ((コミュニケーションの継続)       自然保護についてスピ         ようとしている。       -チができる。         ((コミュニケーションの継続)       自然保護についてスピ         ようとしている。       -チができる。         ((コミュニケーションの継続)       自然保護についてスピ         ようとしている。       -チができる。         ((コミュニケーションの継続)       (適切な発話)         理解できないところも推測       自分が書いた英文を読         して、読み続ける。       (適切な発話)         支定の書いた英文から       関係代名詞who,whichを発         など、       -チができる。         ((1)       (1)         支定の書いた英文から       関係代名詞who,whichを含         など       などできる。         (1)       (1)         (1)       (1)         (1)       (1)         (1)       (1)         (1)       (1)         (1)       (1)         (1)       (1)         (1)       (1)         (1)       (1)         (1)       (1)         (1)       (1)         (1)       (1)         (1)       (1)         (1)       (1)	と	理解できないところがあっ			森林保護と漁業の関係につ
話       今まで学んだ表現を多く使 おうとしている。       正しい文の英文を読む ことができる。       開係代名詞who,whichを用 いて述べることができる。         こ       (コミュニケーションの継続)       自然保護についてスピ ーチができる。       同様代名詞who,whichを用 いて述べることができる。         (コミュニケーションの継続)       自然保護についてスピ ーチができる。       (適切な読み取り)       自然を守るための提言を述 べることができる。         (コミュニケーションの継続)       自分が書いた英文を読 むことができる。       (適切な読み取り)       (言語についての知識)         理解できないところも推測 して、読み続ける。       自分が書いた英文を読 むことができる。       (適切な読み取り)       (言語についての知識)         変       ロて、読み続ける。       なことができる。       (適切な読み取ることがで さる。       (文化についての知識)         と       (適切な筆記)       自分が書いた英文から 書かれている英文の内 容を読み取ることがで できる。       (文化についての知識)         なからキーワードとなる 語を抜き出し、まとめよう くししている。       (適切な筆記)       自然を守るための提言 を書くことができる。       (言語についての知識)         費       「コミュニケーションの継続)       自然を守るための提言 を書くことができる。       (ことができる。       (ことができる。         くしている。       (コミュニケーションの継続)       自然を守るための提言 を書くことができる。       (文化についての理解)       日 (文化についての理解)         としている。       (コミュニケーションの継続)       自然を守ることの重要せを       (文化についての理解)         としている。       (文化についての理解)       自然を守ることの重要せを       (文化についての理解)		ても、推測して聞き続ける。			いて理解している。
す       おうとしている。       ことができる。       いて述べることができる。         こ       (コミュニケーションの継続)       自然保護についてスピーチができる。       (文化についての理解)         ようとしている。       ーチができる。       (適切な発話)         理解できないところも推測       自分が書いた英文を読       (適切な発話)         して、読み続ける。       (適切な発話)       (適切な読み取り)         友達の書いた英文から       書かれている英文の内         なことができる。       (適切な発話)         ロて、読み続ける。       (適切な発話)         (うまュニケーションの継続)       (適切な発話)         ことができる。       (適切な発話)         (適切な発話)       (適切な読み取り)         友達の書いた英文から       書かれている英文の内         など       (適切な発話)         自然を守るための提言を述       (適切な第話)         などのできる。       (適切な第話)         などのできる。       (適切な筆記)         本文からキーワードとなる       自然を守るための提言         書       語を抜き出し、まとめよう         くしている。       (コミュニケーションの継続)         としている。       (コミュニケーションの継続)         としている。       (マ化についての知識)         日違いをおそれず、自分の       「部名のできる。		(言語活動への取組)	(正確な発話)		(言語についての知識)
<ul> <li>こ (コミュニケーションの継続)</li> <li>と 相手に伝わるように発表し ようとしている。</li> <li>(適切な発話)</li> <li>自然保護についてスピ ーチができる。</li> <li>(適切な読み取り)</li> <li>(適切な読み取り)</li> <li>友達の書いた英文から 書かれている英文の内 容を読み取ることがで きる。</li> <li>(文化についての知識)</li> <li>(支ェニケーションの総約)</li> <li>(適切な筆記)</li> <li>(方法できる。</li> <li>(文化についての知識)</li> <li>(文化についての理解)</li> <li>(文化についての理解)</li> <li>(文化についての理解)</li> <li>(文化についての理解)</li> <li>(文化についての理解)</li> <li>((1)</li> </ul>	話	今まで学んだ表現を多く使	正しい文の英文を読む		関係代名詞who,whichを用
と       相手に伝わるように発表し ようとしている。       自然保護についてスピ ーチができる。       自然を守るための提言を述 べることができる。         (コミュニケーションの継続)       (適切な発話)       (適切な読み取り)       (言語についての知識)         理解できないところも推測 して、読み続ける。       自分が書いた英文を読 むことができる。       (適切な読み取り)       (言語についての知識)         変       「言語活動への取組)       (適切な筆記)       (適切な筆記)         本文からキーワードとなる       自然を守るための提言       (適切な筆記)         書       語を抜き出し、まとめよう       (適切な筆記)       (適切な筆記)         と       「言語活動への取組)       (適切な筆記)       (言語についての知識)         水文からキーワードとなる       自然を守るための提言       (言語についての知識)         書       語を抜き出し、まとめよう       を書くことができる。       (言語についての知識)         くしている。       「コミュニケーションの継続)       自然を守るための提言       (文化についての理解)         と       間違いをおそれず、自分の       「部についての理解)       自然を守ることの重要性を	す	おうとしている。	ことができる。		いて述べることができる。
ようとしている。       ーチができる。       べることができる。         (コミュニケーションの継続)       (適切な発話)       (適切な読み取り)       (言語についての知識)         頭像できないところも推測       自分が書いた英文を読       さことができる。       書かれている英文の内         むことができる。       むことができる。       書かれている英文の内       なぎを読み取ることがで         こ       (適切な筆記)       音切な筆記)       教科書の英文を読んで自然         と       (適切な筆記)       (適切な筆記)       (意語についての知識)         本文からキーワードとなる       自然を守るための提言       (言語についての知識)         書       語を抜き出し、まとめよう       としている。       (適切な筆記)         くしている。       「コミュニケーションの継続)       自然を守るための提言       (文化についての知識)         と       間違いをおそれず、自分の       自分の       自然を守ることの重要性を	c	(コミュニケーションの継続)	(適切な発話)		(文化についての理解)
<ul> <li>(コミュニケーションの継続) 理解できないところも推測 して、読み続ける。</li> <li>(適切な発話) 自分が書いた英文を読 むことができる。</li> <li>(適切な読み取り) 友達の書いた英文から 書かれている英文の内 容を読み取ることがで きる。</li> <li>(言語活動への取組) 本文からキーワードとなる 語を抜き出し、まとめよう く としている。</li> <li>(適切な筆記) 自然を守るための提言 語を抜き出し、まとめよう く としている。</li> <li>(適切な筆記) 自然を守るための提言 高を抜き出し、まとめよう なとしている。</li> <li>(词違いをおそれず、自分の</li> <li>(適切な筆記) 自然を守るための提言 な書くことができる。</li> <li>(適切な筆記) 自然を守るための提言 な書くことができる。</li> <li>(適切な筆記) 自然を守るための提言 な書くことができる。</li> <li>(適切な筆記) 自然を守るための提言 なったる。</li> <li>(適切な筆記) 自然を守るための提言 な書くことができる。</li> <li>(適切な筆記) 自然を守るための提言 な書くことができる。</li> <li>(適切な筆記) 自然を守るための提言 な書くことができる。</li> <li>(適切な筆記) 自然を守るための提言 な書くことができる。</li> <li>(注語についての知識) (注語についての知識) 関係代名詞who,whichを用いて いて正しい英文を書くこと ができる。</li> <li>(文化についての理解) 自然を守ることの重要性を</li> </ul>	と	相手に伝わるように発表し	自然保護についてスピ		自然を守るための提言を述
理解できないところも推測 して、読み続ける。       自分が書いた英文を読 むことができる。       友達の書いた英文から 書かれている英文の内 容を読み取ることがで さる。       関係代名詞who,whichを含 んだ英文を認識することが できる。         む       ことができる。       客を読み取ることがで さる。       できる。         と       「富語活動への取組) 本文からキーワードとなる 語を抜き出し、まとめよう としている。       (適切な筆記)       (適切な筆記)         書       語を抜き出し、まとめよう としている。       (適切な筆記)       自然を守るための提言 を書くことができる。       (言語についての知識)         としている。       「コミュニケーションの継続) 増違いをおそれず、自分の       (直分の       (文化についての理解) 自然を守ることの重要性を		ようとしている。	ーチができる。		べることができる。
読       して、読み続ける。       むことができる。       書かれている英文の内 容を読み取ることがで きる。       んだ英文を認識することが できる。         こ       こ       こ       (文化についての知識) 教科書の英文を読んで自然 保護と漁業の関係について 理解している。         (言語活動への取組)       (適切な筆記) 自然を守るための提言 を書くことができる。       (言語についての知識) 関係代名詞who,whichを用 いて正しい英文を書くこと ができる。         書       (言語活動への取組) 本文からキーワードとなる としている。       (適切な筆記) 自然を守るための提言 を書くことができる。       (言語についての知識) 関係代名詞who,whichを用 いて正しい英文を書くこと ができる。         こ       (コミュニケーションの継続) 国違いをおそれず、自分の       (文化についての理解) 自然を守ることの重要性を		(コミュニケーションの継続)	(適切な発話)	(適切な読み取り)	(言語についての知識)
む       容を読み取ることができる。       できる。         さと       ごろの       (文化についての知識)         さる。       (文化についての知識)         教科書の英文を読んで自然       保護と漁業の関係について         理解している。       (適切な筆記)         本文からキーワードとなる       自然を守るための提言         書       語を抜き出し、まとめよう         くしている。       ことができる。         こ       (コミュニケーションの継続)         と       間違いをおそれず、自分の		理解できないところも推測	自分が書いた英文を読	友達の書いた英文から	関係代名詞who,whichを含
こと       きる。       (文化についての知識)         タ科書の英文を読んで自然       (文化についての知識)         教科書の英文を読んで自然       保護と漁業の関係について         理解している。       理解している。         (高筋活動への取組)       自然を守るための提言         本文からキーワードとなる       自然を守るための提言         書       語を抜き出し、まとめよう         くしている。       を書くことができる。         くしている。       (コミュニケーションの継続)         増違いをおそれず、自分の       自然を守ることの重要性を	読	して、読み続ける。	むことができる。	書かれている英文の内	んだ英文を認識することが
と       教科書の英文を読んで自然         (富語活動への取組)       (適切な筆記)         本文からキーワードとなる       自然を守るための提言         書       語を抜き出し、まとめよう         く       としている。         こ       (コミュニケーションの継続)         と       間違いをおそれず、自分の	む			容を読み取ることがで	できる。
(言語活動への取組)       (適切な筆記)       (適切な筆記)         本文からキーワードとなる       自然を守るための提言       (言語についての知識)         書       語を抜き出し、まとめよう       を書くことができる。         く       としている。       ができる。         こ       (コミュニケーションの継続)       自然を守るための理言         と       間違いをおそれず、自分の       自然を守ることの重要性を	E			きる。	(文化についての知識)
理解している。       (言語活動への取組)     (適切な筆記)       本文からキーワードとなる     自然を守るための提言       書     語を抜き出し、まとめよう       く     としている。       こ     (コミュニケーションの継続)       と     間違いをおそれず、自分の	と				教科書の英文を読んで自然
(言語活動への取組)       (適切な筆記)         本文からキーワードとなる       自然を守るための提言         書       語を抜き出し、まとめよう         く       としている。         こ       (コミュニケーションの継続)         間違いをおそれず、自分の       「					保護と漁業の関係について
本文からキーワードとなる       自然を守るための提言         書       語を抜き出し、まとめよう         く       としている。         こ       (コミュニケーションの継続)         と       間違いをおそれず、自分の					理解している。
<ul> <li>書 語を抜き出し、まとめよう を書くことができる。</li> <li>く としている。</li> <li>こ (コミュニケーションの継続)</li> <li>と 間違いをおそれず、自分の</li> <li>を書くことができる。</li> <li>ができる。</li> <li>(文化についての理解)</li> <li>自然を守ることの重要性を</li> </ul>		(言語活動への取組)	(適切な筆記)	/	(言語についての知識)
く     としている。     ができる。       こ     (コミュニケーションの継続)     (文化についての理解)       と     間違いをおそれず、自分の     自然を守ることの重要性を		本文からキーワードとなる	自然を守るための提言		関係代名詞who,whichを用
こ (コミュニケーションの継続) と 間違いをおそれず、自分の (文化についての理解) 自然を守ることの重要性を	書	語を抜き出し、まとめよう	を書くことができる。		いて正しい英文を書くこと
と 間違いをおそれず、自分の 自然を守ることの重要性を	<	としている。			ができる。
	Ę	(コミュニケーションの継続)			(文化についての理解)
思いや考えが伝わるように 理解している。	ح	間違いをおそれず、自分の			自然を守ることの重要性を
		思いや考えが伝わるように			理解している。
書いている。		書いている。			

## 3 指導計画

過	時	ねらい( )と学習活動	支援及び指導上の留意点	評価項目【評価規準との関連】
程	間	【見通し】		B:おおむね満足 A:十分満足(評価方法)
	1	関係代名詞を使って、身近	・身近な人や物について興味を	・関係代名詞を使って、身近にいる人物や物
		な人や物を表す英文を作る	もって表現できるような例文	について英文で書くことができる。
		ことができる。	を多く提示する。	【ウ 、エ 】
		・関係代名詞を使って自分の		B:1~2文作ることができる。
		身近な人や物について英文		A:3文以上作ることができる。
		を作る。		
		Introductionの本文を読ん	・教科書の写真や植林の活動を	・植林活動と漁業の関係について理解しよう
		で、植林活動をする漁師に	紹介している資料などを用い	としている。 【イ 、エ 】
		ついて理解できる。	て、理解を深められるように	B:TorF Quizに答えようとしている。
		・本文を読んで、漁師たちの	する。	A:TorF Quizに答え、自分で質問を考えよ
		植林活動の意義を知る。		うとしている。 (観察、評価シート )

	2	セクション1の本文を読	・ワークシートを用いて、各	・筆者の考えをまとめた英文を書くことがで
		み、筆者の考えを見つけ出	段落のキーワードを抜き出せ	きる。
		し、英文で表す。	るようにワークシートを工夫	(観察、ワークシート 、評価シート )
		・段落ごとに重要である語を	する。	【ア 、エ 】
		書き出し、セクション1で	・生徒間での教え合いや学び合	B:キーワードを抜き出すことができる。
		の筆者の考えをまとめる。	いの時間を確保する。	A:筆者の考えを抜き出すことができる。
		【見通し1】		
	3	前時にまとめたセクション	・各グループでお互いの英文を	・お互いの英文を読み合い、新たな英文を書
		1の英文をグループ内で読	読み合い、アドバイスを行え	くことができる。 【ア 】
		み合い、正しい語順や表現	るようにする。	B:友達からのアドバイスを取り入れ自分の英
		方法などについてアドバイ		文を書き直すことができる。
		スし合う。		A:友達からのアドバイスを取り入れ、新たに
		・お互いの英文を見合い、新		1~2文加えることができる。
		たな表現を学び合う。その		
		後、よりよい英文を作成す		
		る。		
		セクション 2 の本文を読	・ワークシート を使用し、考	・筆者の考えを自分自身の表現を用いて、英
導		み、筆者の考えをまとめる	えが述べられている箇所を見	語で書くことができる。
		ことができる。	つけられるように各段落ごと	(観察、ワークシート 、評価シート )
Л		・本文を読み、筆者の考えを	の記入欄をワークシートに作	【ウ 】
		まとられるようにキーワー	成する。	B:キーワードを抜き出すことができる。
Ø		ドを抜き出す。		A:筆者の考えを抜き出すことができる。
		【見通し1】		
過	4	前時のセクション 2 でまと	・語順や単語の綴り、文法の正	・お互いの英文のよさを見つけ合い、自分の
		めた英文をよりよいものに	誤などを辞書や教師の支援を	表現方法に加え、よりよい英文を書くこと
程		するために互いの英文を読	受けてながら、お互いの英文	ができる。 【ウ】
		むことができる。	を読み合い、アドバイスを行	B:提案表現集を参考に1~2文書くことがで
		・ほかの生徒が書いた英文を	う。	きる。
		辞書や提案表現集を参考に		A:友達のアドバイスカードを生かし、 3 ~ 4
		しながら読み、理解する。		文書くことができる。
		自分自身の英文を書き直		
		し、よりよい文を書く。		
		セクション 3 の本文を読	・ワークシート に本プログラ	・筆者が考える森林と漁業の関連性を英語で
		み、筆者が考える森林と漁	ムのまとめとして、筆者の主	表現することができる。
		業の関係について英文でま	張として考えられる語や文を	(観察、ワークシート 、評価シート )
		とめることができる。	抜き出し、整理できるように	【ウ 、エ 】
		・繰り返し使用されている語	する。	B:筆者の主張と考えられる語や文を抜き出す
		や表現に着目し、筆者の考		ことができる。
		えをまとめ、ほかの生徒と		A:自分の考える森林と漁業に対する考えを
		英文を交換し合う。その後、		1~2文で書くことができる。
		自分で気付かなかった表現		
		を用いて英文を書く。		
		【見通し1】		
	5	前時セクション3の森林と	・辞書や提案表現集からよりよ	・筆者の考えをまとめる視点で、友達のアド
		漁業の関係をまとめた筆者	い表現を見つけ出し、アドバ	バイスを参考にし、よりよい英文を作成す
		の考えを英文を読み合い、	イスが行えるようにする。	ることできる。 【イ 、エ 】

		アドバイスを行う。新たな		┃B:筆者の考えである英文を抜き出すことが┃
		表現を用いて、よりよい英		できる。
		文を完成する。		A:筆者の考えをまとめる英文を書くことが
		自然を守るための方法に関		できる。
		する英文を読み、自分の考	・ワークシート を用いて自分	・自然を守るための提案を3文以上の英文で
応		えを提案する英文を書くこ	の思いや考えを伝える上で必	書くことができる。
		とができる。	要な表現または既習事項など	(観察、ワークシート 、評価シート )
用		・英文を読み、これから自分	を語や文で書き出せるように	【ア 、イ 】
		たちがやるべき自然を守る	ワークシートを工夫する。	B:提案表現を参考に2~3文の英文を書くこ
Ø		ための行動を英語で表現す		とができる。
		る。		A:3文以上の英文で自分の考えをまとめるこ
過		【見通し2】		とができる。
	6	前時に書いた提案文をほか	・自分の思いや考えをきちんと	・自分の自然保護への思いや考えを説得力あ
程		の生徒と交換し、読み合い、	述べられるように友達のアド	る英文で表現することができる。
		指摘し合う。その後、自分	バイスがし合えるようなグル	(観察、ワークシート 、評価シート )
		自身として説得力のある英	ープ作りをする。	【ア 】
		文を作ることができる。		B:説得力ある文を作るために提案表現集や辞
				書、友達のアドバイスを参考に正しい英文
				を作ることにこだわらず、作ることができ
				<b>ర</b> .
				A:説得力のある表現方法を用いて、読み手を
				意識した、正しい語順、文法で英文を書く
		【見通し2】		ことができる。
	7	・完成した提言文を発表す	・お互いの発表を聞き合い、評	・大きな声で堂々と発表することができる。
		る。	価するようにする。	(観察、評価シート)
				【ア 、イ 、エ 】

研究の結果と考察

1 導入の過程においては、教科書の英文を読ん で、筆者の考えをまとめる視点で、語彙や本文を ワークシート、、に整理し、よりよい英文作 りをする上でのInputとOutputの繰り返し活動を行 うことは、英文作りに興味をもって取り組むために 有効であったか

まず教科書の「Fishermen and Forest」の各セ クションを読み、段落毎に筆者の思いや考え、ま たは森林や漁業に関連する語彙や構文や言い回し などを抜き出し(Input)、各ワークシートに整理 する活動を行った(Output)。その際、内容を理 解するために日本語訳も用意し、活用できるよう にした。

各セクションを行うなかで、英語の抜き出しが できなかった生徒は見られなかったものの、森林 や漁業に関連する語は抜き出すことができた。し かしながら、筆者の考えを見付けるのに、クォー テーションマークに着目した者もいたが、多くの 生徒はどんな点に留意したらよいかを思案してい る様子であった。ただ、グループ内で抜き出した 語彙や構文を読み合う活動を通して、表現の幅を 広げ、喜びを感じているようであった。

A 男は、各セクションごとの抜き出しの活動に 意欲的で、グループ内の仲間からの質問などに答 えて自分が使った表現などを教えたり、的確なア ドバイスを与えたりしている様子が見られた。セ クション1の読みの活動時には、「筆者の考えは、 クォーテーションマーク内にある語だ。」とつぶ やき、"We must ~ €の英文をワークシート に 抜き出した。しかし、セクション2においてクォ ーテーションマークが見当たらないことに気付く と、"So" や "Then€25いった接続詞が使われてい る英文を抜き出し、筆者の考えが含まれている文 であると判断し、ワークシート にまとめた。ワ ークシート と を比較すると、 ではただ単語 が抜き出されているだけであったのが、 では筆

者の考えであると思われる文が書き出せるように なっている。「自分が知らない表現の仕方がわか ってうれしかった。」と述べていたことからも、 満足のいく語彙や文に気付いたものと考える。セ クション3においては、セクション1、2で繰り 返し使用されているものとして抜き出した語や表 現をほかの生徒と意見交換しながら、筆者の考え をワークシート に一文でまとめた(資料1)。 この文からは、特に接続詞に着目していることが 見てとれる。セクション1から3までの活動の中 で、A男は色々なアドバイスをしていた。その中 には「文をもっとわかりやすく書こう。」「文の 最後はピリオドで終わりにしよう。」など、文を 作る上での決まりに関するものもあった。そして、 評価シートには「みんなからもらったアドバイス はその通りだと思った。これからもっとしっかり 文が書けるようになりたい。本文を読んで、それ を生かして英文を書くのは難しいけど、新しい表 現などがわかるので勉強になる。」と感想を書い ているところから、英語表現を身に付けることの 大切さに気付いたものと思われる。

資料1 A男のワークシート

このセクションでのキーリードとなるであろう冊や冊句(文)を抜き出そう。

20, We are protected by the forests we protect

B女は、教科書の本文を理解して、語や表現の 抜き出しを行う前に教師の用意した本文の日本語 訳のプリントを参考にした。そのため、内容を理 解して、筆者の考え方をまとめる活動に難なく取 り組むことができたようである。セクション1に おいては森林に関連する語しか抜き出すことがで きなかったが、仲間との教え合いの中で、漁業に 関連する語も数個抜き出すことができた。筆者の 考えと思われる語や構文までは抜き出すことがで きなかったものの、仲間から「"We must ~ €っ 3 てことは筆者の言いたいことだよ。」と指摘され、 ワークシート に一文書いた。その際、自分で表 現を見付け出せなかった悔しさが表情に出ていた ため、教師が「次は自分が正しいと思ったものを 自分で見付けて書いてみるといいよ。」と声をか け励ますと、次のセクションで関連語を見付けた いという気持ちを強くしたようだった。そしてセ クション2においては、"But"や"So€25いった繰

り返し使われている語に着目し、筆者の考えと思 われる文をワークシート に書き出した。関係代 名詞が使われている箇所にも着目し、その文を抜 き出していた。しかし、熟考した結果、筆者の考 えではないことに気付いてあらたな文に書き直し た。セクション3においては、それまでまとめる ことのできなかった筆者の考えをワークシート にまとめることができた(資料2)。ここでは接 続詞に着目し、それらが含まれた教科書の文に線 を引き、抜き出す候補に挙げていた。また"First", "Second"といった具体例を述べる時に使われる 語などが使用された文にも線を引いていた。

資料2 B女のワークシート

In this way we can get much seafood.	

以上のことから、筆者の考えをまとめる活動に おいて、Input と Output の繰り返しを行えば、 英文作りに興味をもって取り組むために有効であ ったと考える。

2 応用の過程においては、教師の提示した英文 に対し、提案するという視点で、ワークシート に 整理し、説得力のある英文作りをする上での Input と Output の繰り返し活動を行うことは、生 徒が書くことに自信がもて、自分の思いや考えを 表現しようとする態度を育てるために有効であっ たか

応用の過程においては、導入の過程での学習を より深めるために、教師の提示した英文に対する 自分の思いや考えを書く活動を行った。教師が提 示したテーマは「Trees」「Trash」「Oil」の3つ で、グループごとに異なったテーマの10文程度の 英文を読んで、「自然を守るための提言」の文を ワークシート に英語で書くようにした。その際、 辞書や提案表現集や日本語訳のプリントを用意し て参考になるようにした。

A男は、「Oil」についての英文を読み、英文に 対し自分がどのように思うかについて書き出し た。"Because ~ €と書き出して、理由を述べて るなどの工夫をしていた。ただ、一つだけ接続詞 を用いても説得力のある文にはならないと考え、 "Also €351いった接続詞も付け加えた。そして最 終的には5文を書き上げた。この5文についてグ ループ内の友達から指摘を受け、接続詞の使い方 の正誤に関わるもの、より説得力のある文を作る ための表現の工夫などを参考にした。「友達から のアドバイスを受け、多くの語彙や構文を学びと ったことで、書くことに自信がもてるようになっ た。」と評価シートに書いていた。

B女は、「Trash」についての英文を読み、辞 書や提案表現集から意味を調べながら、内容理解 をしていった。まず自分の思いや考えを日本語で 書き、その後、英文に書き直すようにし、語彙の 使い方や文法にも注意をはらいながら、友達へ質 問するなどして、英文作りに楽しそうに取り組ん でいた。多くの語彙や表現を友達の英文から学び、 それらをどんな場面でどのように使用するのがよ いのかについて教師に意欲的に質問する場面もあ った。"I think ~ €で13文目を書き出したものの 後が続かず、再度仲間からアドバイスを受けて、 "I think it is not need much paper.€25書き上げ た。文法的には正しい英文ではなかったが、思い が伝わるものであったと考えられる。その後、同 じグループの生徒が使用していた接続詞の "But€35 を用いて、文章を展開していた。そして最終的に は"I hope€56用いて自分の希望を含めた提案文 にするなどした。何とかして自分の思いや考えを 相手に伝えたい気持ちの表れであると考える(資 料3)。同じグループ内の生徒からは「一生懸命、 書こうとしているB女さんはスゴイ。」「しっか りと自分の考えが書けてスゴイ。」といった感想 をもらい、喜ぶ表情が見られた。

資料3 B女のワークシート

0 I	think it is not need much paper.
2 Bu	at I thow away soon.
	don't buy unnecessary things. o I hope we're not going to try to throw trash.
5 A	nd every one can do so together.

以上のことから、自分の考えを提案する活動に おいて、Input と Output の繰り返しを行うこと は、書くことに自信がもて、自分の思いや考えを 表現しようとする態度を育てるために有効であっ たと考える。 研究のまとめと今後の課題

この活動を通して、繰り返し何度も使用場面 に沿った語彙や構文を学ぶことで、書くことに も自信がもて、さらにはもっといい英文を書き たいと思うようになったと考える。自分自身が 気がつかなかった語彙や構文、表現などを友達 からのアドバイスから学び取ることができたこ とで、生徒たちの学習意欲の一層の向上へとつ ながったと考える。

英語で自分の思いや考えを書いて表現するた めには、ある程度の英語力が必要とされる。今 後は、英語力を向上させるために、学習意欲を 喚起させることを大切にしながら、聞く、話す、 読む、書くの活動の有機的な関連を図れるよう な工夫をしていきたいと考える。

< 参考文献 >

- ・金谷 憲 著 『英語リーディング論』 河源社(1995)
- ・田中 武夫・田中 知聡 著 『「自己表現活動」
   を取り入れた英語授業』
   大修館書店
   (2003)